

平成24年度 第2回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成24年8月6日（月） 午後3時30分から午後4時25分まで

場 所 東金市役所 3階 第1委員会室

出席した委員

石渡 徹男	東金市議会議員
井上 肇	千葉県健康福祉部保健医療担当部長
氏原 強	千葉県病院局循環器病センター事務局長
近藤 俊之	(社)全国社会保険協会連合会常務理事
鈴木 征四郎	九十九里町議会議員
佐野 勇一	(株)ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部長
田畑 陽一郎	山武郡市医師会会長
樋口 幸一	公認会計士
松永 敏子	(社)千葉県看護協会会長 (敬称略、五十音順)

欠席した委員

水田 宗子	学校法人城西大学理事長
宮崎 勝	千葉大学医学部附属病院長 (敬称略、五十音順)

出席した関係者等

志賀 直温	東金市長
川島 伸也	九十九里町長

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平澤 博之 理事長

石原看護部長、原田事務部長、高宮参事、鶴岡課長、霞課長 他

評価委員会事務局

東金市企画政策部医療センター推進課 鶴岡参事、土屋副課長、加藤主査補

会議概要

近藤委員長 挨拶

志賀東金市長 挨拶

平澤理事長 挨拶

議事

第1号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成23事業年度の業務実績に関する評価結果（案）について

第2号議案 平成23年度財務諸表に対する意見（案）について

その他 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成24年度計画（報告）

開会（午後5時）

司会 本日は、お忙しいなかご出席を頂きましてありがとうございます。また雨の中、東千葉メディカルセンターの現地視察大変お疲れ様でした。ただいまから平成24年度第2回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を開催したいと存じます。審議に先立ちまして、宮崎委員、水田委員より欠席の連絡を頂いております。その他の委員におかれましては、出席して頂いておりますことから、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会共同設置規約第7条の規定に基づき、過半数の委員の出席により評価委員会が成立していることをご報告申し上げます。報道機関の写真撮影でございますが、傍聴要領に基づき予め委員長の許可を得ておりますことを併せてご報告申し上げます。これより次第に沿って会議を進めて参りたいと思います。まずはじめに、近藤委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 本日は、お忙しいところご出席を頂きましてありがとうございました。また、先ほどは建設現場を見る機会を頂戴いたしまして、いよいよ2年弱の間に病院が建ち上がるという思いを深くした次第でございます。本日の評価委員会は前回の評価委員会で委員の皆様からご意見を頂いた中で事務局が案を用意しておりますのでご審議をお願いしたいと思います。

司会 ありがとうございます。続きまして、設立団体を代表いたしまして、東金市長よりご挨拶を申し上げます。

東金市長 設立団体を代表いたしまして、私からご挨拶を申し上げます。本日、会議の前に東千葉メディカルセンターの現地を視察頂いたということで、順調に事業が進んできているということをご確認頂けたかと思えます。前回の評価委員会での独法の事業報告と財務諸表に対しまして委員の皆様からのご意見を踏まえて、評価結果及び財務諸表に対するご意見を取りまとめたものを本日ご審議をお願いするという段取りになっております。評価結果及び財務諸表につきましては、9月の東金市と九十九里町の議会に報告する予定となっております。新規独法による新しい立ち上げという全国でも例のない初めての取組みでございまして、開院までにさまざまな問題というものも発生してくることも予想されるところでございまして、独法並びに東金市、九十九里町に対しまして、関係される皆様方のご支援とご協力を引き続いてお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。続きまして平澤理事長よりご挨拶をお願いいたします。

理事長 平澤でございます。先ほど志賀市長も申しあげましたようにお陰様で工事が着工いたしまして、今日ご覧いただいたように着々と工事が進んでおります。あれを見るにつけて医療スタッフ、看護師を集めて平成26年4月には無事オープンしたいと思っております。それにつけても色々な段階で評価委員会の方々の厳密な評価をお受けし、修正すべきところは修正して、粛々と計画を進めたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。これより議事に入りますけれども、議事の進行は評価委員会共同設置規約第7条第1項の規定に基づきまして、近藤委員長をお願いしたいと存じます。

委員長 それでは、早速議事に入りたいと思います。前回の6月25日の評価委員会におきまして、平成23事業年度の業務実績及び平成23年度財務諸表に対する意見を頂いたところでございます。それではまず、評価委員会として設立団体への報告書となります、第1号議案の平成23事業年度の業務実績に関する評価結果案につきまして審議に入りたいと思います。結果報告書につきましては前回の審議を踏まえて事務局で取り纏めております。内容につきまして事務局から修正になった点を特に強調して説明を頂きたいと思えます。

市事務局 第1号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成23事業年度の業務実績に関する評価結果(案)についての説明

委員長 ありがとうございます。ただいまの説明に対しましてご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。前回頂きましたご意見等は含まれておりますでしょうか。よろしいでしょうか。それではご質問ご意見等が無いようですので、第1号議案につきましては評価結果書(案)のとおりとする扱いということでよろしいでしょうか。それではこの評価結果書を設立団体及び独立行政法人に通知いたしますのでよろしくをお願いいたします。次に第2号議案 平成23年度財務諸表に対する意見(案)について審議を行います。内容につきましては事務局からご説明をお願いいたします。

市事務局 第2号議案 平成23年度財務諸表に対する意見(案)についての説明

委員長 第2号議案につきましては前回の評価委員会におきましても特段のご意見もございませんでした。また、その後ご覧頂いて何かあれば事務局へご意見をお願いしたところではございますが、ただいまご報告がありましたように特段無かったということではございますが、改めまして何かございませうでしょうか。第2号議案につきましては設立団体の長が財務諸表を承認するにあたり評価委員会の意見を聴くという仕組みになっておりますので、委員の皆様から特段のご意見が無いということであれば地方独立行政法人法第34条3項に基づく評価委員会の意見として承認すべき旨、意見書のとおり設立団体に回答したいと思います。よろしくをお願いいたします。なお、評価結果書及び財務諸表に対する意見につきましては、議会への報告もありますことから、今後、報告資料の作成の中で字句の整理の必要が生じた場合には私にご一任をさせて頂きたいと思っております。よろしくをお願いいたします。最後にその他の地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターから平成24年度年度計画の報告がございませうでよろしくをお願いいたします。

独法事務局 その他 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成24年度年度計画の説明

委員長 ありがとうございます。この計画については、法人の理事会で決定事項としていただいております。これに基づきまして、来年になりますと平成24年度の評価をすることになる訳ですが、現段階においてご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。この平成24年度の年度計画で建設はある意味では建設会社の方にお任せすることになると思っております。事務的に大きなところはこの人事給与制度と看護師とコメディカルの確保ということで、平成24年度採用予定看護師14名と書いてあるのですが、今年度中に内定を出して平成25年度に採用を予定する看護師数というのは計画数値にはないのですか。平成25年度スタート時からは何名の看護師を採用する予定ですか。

看護部長 平成24年度採用予定看護師と書いてある14名は私を含めて15名ということで前年度に採用内定をして平成24年度4月1日時点で確保をしている数です。平成25年4月1日時点の看護師の採用予定数は、平成24年度採用数を含め70名程度を採用する計画となっております。

委員 その70名の看護師のうち新人看護師の採用はありますか。

看護部長 新人看護師の採用につきましては、20名程度採用する計画としておりますが、現在の応募状況から若干名の採用となる見込みです。まだ採用試験が始まったばかりですのではっきりとは申し上げられませんが、若干の新卒看護師の応募もございませう。

委員 来年度採用予定の新卒採用看護師も千葉大医学部附属病院で研修を行うのですか。

看護部長 次年度の新卒採用看護師の研修につきましては、千葉大学医学部附属病院と県立病院7病院のうち、比較的新人看護師を多く受けいれている施設、例えば救急医療センター、循環器病センター等、4病院程度での研修ということで千葉大学医学部附属病院、県病院局と打合せを始めておりませう。

て、お願いをしていく方向で検討をしているところでございます。

委員 13ページの第1の5番目、医師会や地域の医療機関等との連携の中で、県及び郡医師会とございますが、郡市医師会として頂きたいと思えます。

委員 13ページの第2のところ、目標が3つ掲げられておりますが、予算措置はしていないということで理解してよろしいでしょうか。もし予算措置されているのであればどの項目にいくら位の予算を考えているのかをご説明頂きたいと思えます。

独法事務局 まず、1つ目の効率的で財政上の健全な運営方法の確立の中で、仕様書の作成及びシステムベンダーの選定を行うとありますけれども、こちらにつきましては、運営体制支援業務委託としましてシステム環境研究所と1,732万5千円で他の業務も含めて平成24年度の委託をしております。2つ目の魅力ある人事給与制度につきましては、独法の総務課が中心となりまして、前に作成しましたものを精査をかけて内容を詰めているところでございます。3つ目の会計制度の整備と運用についても同様でございます。

委員長 システムベンダーの選定に直接かかる予算はどの程度ですか。

独法事務局 システムベンダーにつきましては、本年度では選定までを行います但实际上に経費を支出する予定はございません。平成25年度以降に契約をして支出が発生するという形になります。

委員 第2の1番のシステムベンダーの選定ですが、選定を行うにあたっての具体的な仕様書等の案はできていますか。

独法事務局 システムベンダーの選定でございますが、委員長を木村特任教授として医療機器等整備委員会を立上げまして、本年度より選定に入り、本秋口にシステムベンダーを決定し、協定を締結する予定でございます。具体的な病院へのシステムの導入につきましては、平成25年度末に入札を行いリース会社との契約の中で導入を予定しております。仕様書につきましては昨年度から内容を進めており、出来上がったところでございます。

委員 参考にして頂きたいと思えますが、千葉県の県立病院でも情報システムのベンダーを選ぶということは大変難しく、大体コンピュータのベンダー会社というのは5年位でバージョンアップをします。そうすると5年でまた、再投資という形でまた同じ位の投資金額を要求するベンダーがあります。最近の病院の情報システムでは一度入れて15年、20年同じベンダーで使い続け、ソフトについては最新のバージョンを入れ替えができるようなシステムになっていますので、そういうベンダーを選んだほうが再投資する資金が少なく済みそうです。再投資にお金を使うのであれば最新のソフトを導入して、そこにお金を投資したほうが良いということで考えていますので、ご検討していただければより効率的ではないかということで聞いた次第でございます。

独法事務局 ありがとうございます。仕様書を策定いたしまして、ベンダーの方に公募をかけた矢先でございますが今後選定の中で今のことにつきまして十分考慮して進めて参りたいと思えます。

委員 公的な医療機関の医療システムの導入をみますと、例えば5年前に開発して修正を加えながら、十分に検討し導入しているにもかかわらず、最初2億円掛ったとして、また、新たにシステムを少し変えただけで同額を設定してきます。そこを是非見抜いて、変更した実績等から業者と金額の折衝をして欲しいと思えます。そうでないと業者は一部修正しただけの、ほぼ同じレベルの内容にもかかわらず、あたかも新たに作成した様な態度で多額の再投資額を要求してくる可能性があります。特に著名な会社ほどそうなる聞いています。是非とも注意して折衝していただければと思えます。

委員 今、システムのお話が出ていますので是非ご参考にして欲しいのですが、民間の場合もシステム

を入れ替えた場合、仕様書を作ってベンダーに選定をかけて開発をするのですが、当然、開発する段階で実際にシステムのユーザーと運用設計といわれる、操作性であるとか、どういう仕組みであるとか、どういうデータの受け渡しであるとかそういうところをよく詰めて開発をどの会社もされるのですが、ただ、カットオーバーしてシステムが動き出したあとに必ずそれに対する注文がどうしても発生してしまいます。紙上でのシステム的设计ですのでパソコンに画面が出てきたり、操作をしたりするとやはりこういうやり方のほうが良かったであるとか、こういうデータを出して欲しいということが、設計で詳細に詰めるのですがユーザー側から出てきます。我々コンサル会社の一つの考え方ですけども大体開発費用の30%は2次開発という予算組みをしないとカットオーバーしてから、バージョンアップとは別に運用改善という形でどうしても2次開発の費用が発生しますので、予算を組む際には3割というのは非常に大まかな言い方なんですけれども若干の2割程度の全体開発費用はどうしても追加で発生するというのは是非留めておいて頂ければと思います。カットオーバーした直後に急に直さなければ業務に支障がきたす場合、直すことは当然のことになりますのでそこは是非ご参考にされたらいかがかなと思います。

独法事務局 貴重な情報をありがとうございます。恐らく開院してからがまたいろいろと変更あるいは改善という形でのものも生まれるでしょうし、その議論はしておりますけれども十分考慮して参りたいと考えております。

委員長 ほかにこの平成24年度年度計画についてご質問ご意見ございますでしょうか。

委員 13ページの第2の2番の魅力ある人事給与制度の確立ということで、先ほど総務課で検討されているということですが、これは病院経営にとって非常に重要なことだと思います。いわゆる制度を確立した上で今度は評価関係の制度とかそういうものもこれから作っていくと思いますが、やはり開院を1年半後に控えながら、もう少し外部のノウハウを導入するとか何かそういうことで一番大事な人事給与制度と評価制度をやっていくための予算措置がないのですが、このあたりのことを少し検討していただければありがたいと思います。

理事長 理事長の平澤でございます。今、事務方が申し上げませんでしたけども給与体系に関しましてはコンサル会社のトーマツを入れまして、そこで魅力ある給与システムを既に構築いたしまして、それを基に今年度、総務課で検討しているということですが、それでどうやったら若い人たちが来てくれるかというようなことを十分考慮いたしまして、若い人たちには比較的手厚いシステムを作り上げております。余談ですが先般新潟の病院で私どものところを見学にきてくださった方がいらっしゃったんですがこの時点でそういうふうに給与体系までも作りあげているということに関して我々のほうが先行しているということでもかなり驚かれておりました。申し上げ方が悪かったのですがそういうことは外部を入れてやっております。

委員 人事と給与のお話でしたがもう一点お願いしたいのは、先ほど看護師の採用のなかで新人の方もできるかぎりたくさん集められてというお話がありましたけども人事制度給与制度を人事評価制度を作る中では、そのバックボーンには新人の方をどうやって育てていこうかということが絶対条件になると思います。当然、新人で入った看護師の方がどれくらいの仕事ができるようになったのでその仕事の対価として人事給与というものは反映していくものですので、人事制度、給与制度を決めるバックボーンとして人をどうやって育てていくかという教育制度をぜひご検討したほうがよろしいかと思っております。

理事長 ご指摘ありがとうございます。看護師の教育制度につきましては、千葉大学医学部附属病院看

護部の教育システムを非常に参考にいたしまして、また、看護教育看護養成課程の教官の人選を含め、すでに入職後の看護師の教育プログラムを構築しつつありますので入ってきた後も引き続き看護師の教育に関してはかなり力を入れて行きたいと思っております。ご承知のように看護師もどんどん高学歴化してきておまして、学卒の人だけでなく院卒の看護師も増えておりますし、そういうことも含めて、やがてはナースプラクティショナーというようにアメリカで医師と看護師の間ぐらいの役目をする人たちを育成しておりますので、そういうことも目指し視野に入れてプログラムを作っていきたいと思っております。

委員 給与の面で気になりますのが、若い人たちに手厚くということですが、採用されてそのようにしっかり教育して育ていった看護師たちがそこに定着してくれないと看護の質全体というのは上がっていかないと思います。そのあたりも踏まえた給与体系を考えて頂きたいと思えます。

委員 この平成24年度計画はこれで全く問題ないと思いますが、少し気になるところが一番冒頭の12ページの第1の1メディカルセンターの医療機能でございます。ここに3つの項目がございますが、この内の一つ目と三つめの項目を少し気にしております。読み上げますと、救命救急センターを併設し、一次から三次まで急性期医療を核としたところと、4疾病4事業に対応した医療機能を確保するための体制というところがございます。もちろんこのとおりですけれども実際にこの病院が確保しようと予定している医師数とここに書いてある言葉というのがしっかりと結びつきにくいように思います。具体的にいうと平成26年春の段階の医師数が30名、フルオープンの時点が56名の数でこの言葉どおりに実現できるかどうかというのは少し別問題になろうかと思えます。実際にはここに書いてあることをこの言葉どおりのイメージが56名で出来るのかどうか、仮に56名では難しいのであれば56名で出来ることというのをもう少し詳しく書く必要がないのか、将来的には少し頭の隅においてご検討いただければと思っております。

委員長 ただいまのお話は開院後数年で非常に重要なことになるのではないかと思います。計画する医師数ではたして計画を実現できるかという問題はでてくるということで、委員のご指摘がありましたように法人が実際に動きだした時に具体的な機能というものを検証していく必要があるのではないかと思います。そういう意味では委員の発言として記録をして頂ければと思えます。それでは平成24年度年度計画については以上ということで、来年度の評価にあたってはこの計画に対して評価をして頂きたいと思えます。その他の議題は特にございますか。何か皆様方からご発言なさいたいことはございますか。それでは予定された議案も全て終了し、皆様のご意見もないということでございますので、以上をもちまして平成24年度第2回評価委員会を終了したいと思えます。どうもありがとうございました。